

◆28 番（森田卓司議員）

皆さんこんにちは。自民党市議団森田卓司でございます。

まず、o n i ビジョンのことを皆さんよく言われています。御津・建部地域にも o n i ビジョンが入っているわけですが、議会中継を見られているかどうかはちょっと定かではないんですけど、きょうも来ていただいて、ずっと中継されております。建部町時代から o n i ビジョンで岡山市の議会中継を見ることはできたわけですが、それよりもきょう o n i ビジョンの方がいらっしゃるので、私本当に感謝したいのは、いろんな地域に出向いて、きょう市長が行ったと言われた足守メロンまつりのような大きなイベントの取材に行ったり、それから市長も知らない、関係局長、それから誰も知らないような小さなイベントでもそこへ行って、それを写して o n i ビジョンで情報発信する。なかなかスポットが当たらない地域に対して、本当にしっかりとそういう人たちにスポットを当てていただき、いやあきのうはテレビに映ったなというような話をされているのを聞くと、本当に o n i ビジョンさんに感謝申し上げますというところでございます。本当にありがとうございます。そういうことで、一つ褒めといて質問に入りたいと思います。

通告に従って質問に入りますが、2 項目めの用水路等安全対策の進捗状況については割愛させていただきます。

それではまず、前期中期計画素案より。

(1) 地方創生応援税制について。以下、企業版ふるさと納税と発言させていただきます。

平成 27 年度末には岡山市第六次総合計画長期構想が策定され、現在前期中期計画の策定に向け議論しているところです。国では、地方創生に係る事業、交付金の制度が新たに導入されています。何回も申し上げていることですが、都市間競争を勝ち抜くためにはさらなる岡山市の認知度のアップと情報収集、情報発信が必要であると改めて考えるところです。

そのような中で、岡山市では去る 11 月 25 日には「岡山で働きたい！」企業の魅力“創出・発信・発見”プロジェクト事業が地方創生推進交付金の交付対象事業に決定したとの報告もありました。今後も、国の新たな地方支援制度に取り組んでいただくことを期待しています。

そこでお尋ねいたします。

ア、企業版ふるさと納税は、本年度は平成 29 年 1 月に第 3 回の申請、そして 3 月中に認定がされるとお聞きしていますが、本市の申請等の予定があればお示しください。

また、平成 29 年度以降はどのような対応を考えておられるのか、御所見をお示しください。

次に、岡山市の総人口は平成 32 年をピークに減少に転ずると想定されています。今、全

国の自治体で人口減少対策に取り組んでいます。岡山市は、高齢者の方が元気で暮らすことができる健康寿命の延伸等の政策を積極的に取り入れています。私自身、高齢化率が高いことが問題ではなく、少子化対策、若者の首都圏等への流出が大きな課題であると思っています。

そのような中で、兵庫県養父市では大学や短大などの学生に無利息で奨学金を貸与し、卒業後8年間市内に居住すれば返済を免除するUターン奨学金を始めています。養父市では、若者の定住を促したい考えだとお聞きしています。2016年度の当初予算では足りないため、9月補正で増額しています。

鳥取県、福井県ほか2県の奨学金返還支援事業が企業版ふるさと納税の平成28年度第1回の対象事業として決定をされています。

そこでお尋ねいたします。

イ、岡山市版Uターン奨学金制度を担当局として新設することは考えられないでしょうか。

次に、(2)安全・安心ネットワーク支援事業についてお尋ねいたします。

小学校区を活動範囲とする地域の各種団体で構成されている安全・安心ネットワークは、防災、環境美化、地域福祉、健康づくりなどに取り組んでおられますが、子どもたちの登下校の見守り活動も大切な取り組みであると認識しております。

20年ぐらい前の話になりますが、子どもに対するいろんな事件が多く発生していたときに、私の本当に親友だったんですけど、子どもが学校から歩いて帰ってきよるのをその親友が反対から自分の自家用車ですれ違って、窓をあけて気づけて帰れよ言うたら、それを見ていた誰かが警察に通報して不審者じゃと言われたというような話もあるぐらい、その当時はいろんな不審者情報とかというのがありました。これから言いますが、今でもそういうことが多々あります。その友人も4年ぐらい前に他界しまして、本当に残念ですが、この原稿を書いているそのことを思い出しました。

さて、岡山県警察本部子ども女性安全対策課の調査によると、平成28年1月から10月中、警察が認知した通学路等における子ども被害の犯罪や不審者に関する情報は762件で、1日当たり平均2.5件を認知している。被害の状況は、下校時間帯15時から19時の発生が約5割、男女別では女子児童・生徒が約8割、行動別では下校中が約4割、単独で行動中が約6割、警察への第1通報者は保護者が約5割、警察への通報に要した時間は発生後30分未満のものが3割、24時間以上経過したものは2割となっている。最近、携帯電話を向けられて撮影されたかもしれないという不審者情報の通報がふえている。そのような場合は、すぐに撮影範囲から外れるよう子どもたちに指導する。携帯電話を使用する際、カメラで撮影する際にはむやみにレンズを人に向けないように、大人も気をつけるとの統計と報告でした。

各学区の安全・安心ネットワークの活動には本当に頭が下がる思いです。

そこでお尋ねいたします。

ア、安全・安心ネットワークの活動に対して岡山市はどのように関与しているのか、お示してください。

イ、安全・安心ネットワークの活動経費の支援の拡充を求めるが、御所見をお示してください。

次に、岡山連携中枢都市圏ビジョン素案より。

今議会に岡山連携中枢都市圏ビジョン素案が示されています。取り組みの期間は、平成29年4月から平成34年3月までの5年間で、本ビジョンを着実に推進するに当たり、毎年度岡山都市圏連携協議会を開催し、事務事業に関する連絡調整を行うものとするお示されていますが、当初からしっかり関係各市町と協議したビジョンにしないといけないと思っております。

そこで、その事業の中から2点について質問いたします。

まず、ア、特産農産物PR事業についてお尋ねいたします。

特産農産物PR事業については平成28年度から実施されている事業であると掲載されています。

そこでお尋ねいたします。

現段階で具体的にどのような事業の展開を計画しているのか、お示してください。

イ、河川の水質改善と環境保全推進事業についてお尋ねいたします。

事業内容は、環境衛生協議会においてESD等の取り組みに関する学習、研修を実施、旭川流域連絡協議会の再開と旭川水系の水質状況や生態系の調査研究と示されています。

そこでお尋ねいたします。

旭川本流に接している美咲町及び吉備中央町は、少なくともこの事業に参加していただくべきだと思うが、どのような協議をしてきたのか、お示しいただきたいと思っております。

以上で1回目の質問を終わります。

御清聴ありがとうございました。

#### ◎大森雅夫市長

それでは、森田議員の質問にお答えしたいと思います。

森田議員御指摘のように、都市間競争を勝ち抜くには情報発信を強めて魅力度をアップしていく、そういうことがまずは基本になろうかと思っております。民間の調査機関によると、情報発信そのものはことしの秋10月に出たものでは1年間で40位ぐらい上がっているところでありまして、もう100位台になっております。魅力度自体は50位ぐらい1年間で上がっているという面で、そういう情報発信度というのは上がってきているのかなと。言いながら、まだ全体の都市の中で100位を超えているということで、もっともっとやっぴいかなきゃいかんと思っております。

そういう際に、御指摘のようにさまざまな国の制度、交付金などを活用していくというのは当然だろうと思っております。したがって、11月には地方創生交付金の

交付対象事業に選ばれたということも一ついいことではないかと。

もう一つの議論が、この企業版ふるさと納税であります。この要件を見てみますと、まず一つはあらかじめ1社以上の寄附の見込みが必要だと。この1社というのは岡山市以外に本社がなければだめ。そして、2つ目の要件としては新規または拡充の地方単独事業で着手しているものはだめ。こういう要件であります。

今、来年1月の国への申請を目指して各局から情報をそれぞれとりながら精査しているところでございますけれども、岡山市が持つ歴史・文化資源を生かした情報発信を通じて岡山市の知名度を上げ、観光誘客増を目指す事業、若干抽象的ではありますがありますけれども、こういった事業で展開できるのではないかなということでも今議論しているところであります。

これが今年度の話でございますけれども、平成29年度以降の申請においても民間企業の意向なども考えながら積極的に活用できるものは活用していく、そういう姿勢で臨んでいきたいと思っております。

以上です。

#### ◎奥野淳子市民協働局長

前期中期計画素案よりの項、安全・安心ネットワーク支援事業についての御質問で、活動に対する市の関与と活動経費の支援の拡充について、一括してお答えします。

安全・安心ネットワークに対しましては、活動経費の一部助成や地域活動を担う人材の育成につながる講座の開催等のほか、安全・安心ネットワーク連絡協議会総会での活動事例報告による情報の共有などの支援を行っています。防犯、防災、地域福祉等の分野において地域における主体的な活動が促進されている一方で、担い手不足等の課題もあると聞いております。今後、組織や活動の現状把握等を行った上で、活動経費の助成も含めた安全・安心ネットワークへの支援のあり方等について検討してまいりたいと考えております。

以上です。

#### ◎田中克彦岡山っ子育成局長

同じ項、地方創生応援税制についての中、岡山市版Uターン奨学金制度の新設についてのお尋ねです。

進学を希望する子どもが安心して教育を受けることができ、将来の社会を支える人材へと育つための環境を整備するため、本市では無利子の岡山市奨学金貸付制度を設けております。

議員御提案のUターン奨学金制度につきましては、現行制度の利用状況や国の給付型奨学金の動向などを注視してまいりたいと考えております。

以上です

◎山上晃稔環境局長

岡山連携中枢都市圏ビジョン素案よりの項、河川の水質改善と環境保全推進事業についての御質問にお答えいたします。

本事業は、当初真庭市からESD等の取り組みに関する学習、研修の実施や旭川水系の水質状況や生態系の調査研究等の提案があり、その事業内容等を各市町で検討した結果、赤磐市が参加を表明され、最終的に岡山市と真庭市及び赤磐市とで連携協約を締結したものでございます。今後、旭川の水質改善等で流域の他の町とも連携していくことは可能であると考えております。

以上でございます。

◎山本修司経済局長

同じ項、特産農産物PR事業についてお答えします。

特産農産物PR事業は、赤磐市、和気町とともに各地域の特産農産物の知名度の向上を目指し、生産団体等との協力のもと、県内外でのイベント等を活用した特産農産物のPR活動を実施するものです。

既に、本年8月には東京のとっとり・おかやま新橋館で開催されたおかやまの魅力を発見！PRイベントにおいて和気町と共同で岡山のブドウの試食PRを行い、また先月下石井公園で開催した地産地消マルシェでは、赤磐市、和気町を初めとする圏域内8市町がブース出展されました。今後とも、さまざまな機会を捉えて特産農産物をPRしていきたいと考えております。

以上です。

◆28番（森田卓司議員）

市長からの答弁ありがとうございました。

やっぱり、市長が言われたように各局担当者が国の交付金とかを十分活用するというか、そういうことをやっていく、それでそういうものがあるということ全局に知らせるかなどをやっていくことが非常に重要なことだと思うので、市長がさっき言われたような形でやっていただければと思います。

それから、養父市の例を出してUターン奨学金制度を新設したらどうかと伺いました。養父市も一般財源でやっておられるようでございます。きょうの質問ですぐやると言われたらこっちのほうびびっくりするぐらいなんで、これから十分検討してやっていただければいいと思うんです。

たまたま私はこの部分においてはUターン奨学金制度で申しましたけれど、農林水産課でUIJターン園芸農業者支援事業というのがあって、これは岡山市がもう自主財源でやられております。先般聞きましたら、これに今2件程度の応募があるということなので、やっぱりこういう自主財源でも岡山市のPRをするためにはやるべきことはやらなくては

いけないのではないかと思いますし、それからさっき言った交付金とか補助金を使ってやることはそういうことでしっかりと取り組んでいかなければいけないのではないかと考えております。

それから、安全・安心ネットワークでございます。

安全・安心ネットワークも考えてみれば約10年を経過した事業だと思います。多少というか、大きくマンネリ化した部分もあると思うんですが、事業に実際に携わっておられる地域の方々の要望や意見をしっかりと聞いて、マイナーチェンジは何回もやってきたと認識はしているんですけど、そろそろこの安全・安心ネットワークの事業自体をもっと見直すべきではないかと思うのですが、御所見をお聞かせください。

それから、連携中枢都市圏の中の旭川の件でございますが、これは一番上流の真庭市と一番下流の岡山市があって、真ん中にある美咲町と吉備中央町が抜けているわけでありませう。先ほど、局長の答弁ではそれは話していくということだったので、そう認識しているんですが、これは相手もあることなので、無理やりやって連携中枢都市圏の協定自体が全部ばらばらになっても困ります。その部分に対しての御所見をもう一度お聞かせください。

以上でございます。

#### ◎奥野淳子市民協働局長

安全・安心ネットワークにつきましては、御指摘のように10年が経過いたしました。今後、安全・安心ネットワークのあり方、支援のあり方等も含めまして、検討していくに当たっては活動の現状、それから課題等しっかりと把握、分析していくことが重要であると考えていますので、実際に活動している方々から御意見等をしっかりと伺いながら、検討を進めていきたいと考えております。

以上です。

#### ◎山上晃稔環境局長

旭川流域の件で、美咲町や吉備中央町を含めて旭川流域ということで取り組みをしてほしいという御質問をいただきました。

今、協約を締結したばかりというところでありませうけれども、そういった意味では当面真庭市と赤磐市と旭川の上流、中流、下流のつながり、また違いとか、そういったものを念頭に置きながら、環境保全の観点から今後こういった取り組みができるか協議を進めていきたいと考えております。取り組みが具体化する中で、他の町、美咲町や吉備中央町につきましても新たに御参加をいただければ、点が線になる形で旭川流域の取り組みになるものと考えております。

以上でございます。